



子どもの認知的特徴とその過程に 適した学習支援と生活支援

20170311

子どもの日本語教育研究会

清長 豊

家庭療育Sophie指導員 / 療育コンサルタント
特定非営利活動法人アジャスト 代表理事
県特別相談員（岐阜）
岐阜県公立小学校 教員
理学修士（京都大学）



活動（さくら教室、つぼみ教室、家庭りょういく）

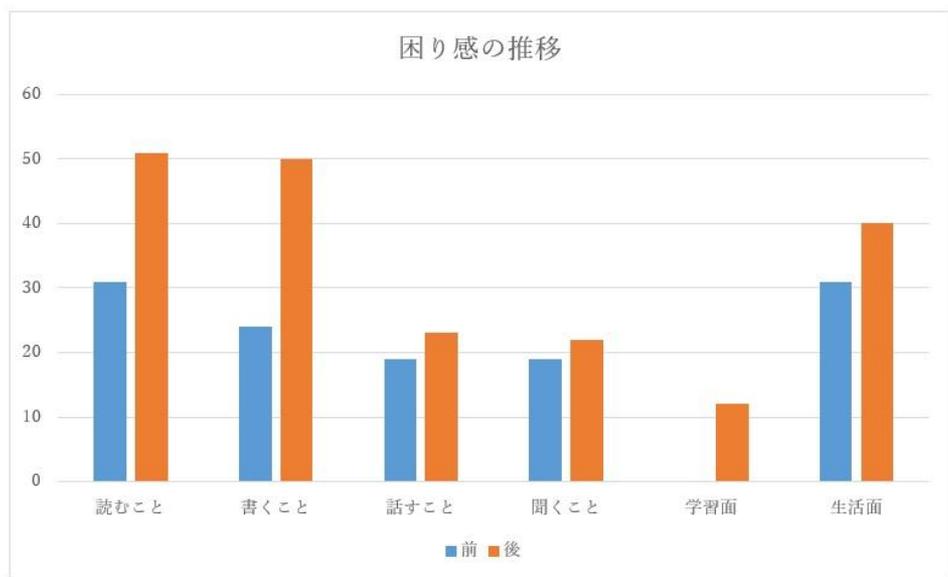
学校外の活動（家庭りょういく Sophie）

- ・ 訪問型の困り感のある子どもとその家族の支援
- ・ 保護者の障がいの理解補助、関わり方指南
- ・ 国籍は問わない
- ・ ICT教材の活用と開発
- ・ 小中学校訪問巡回（支援が必要な外国につながる子ども）

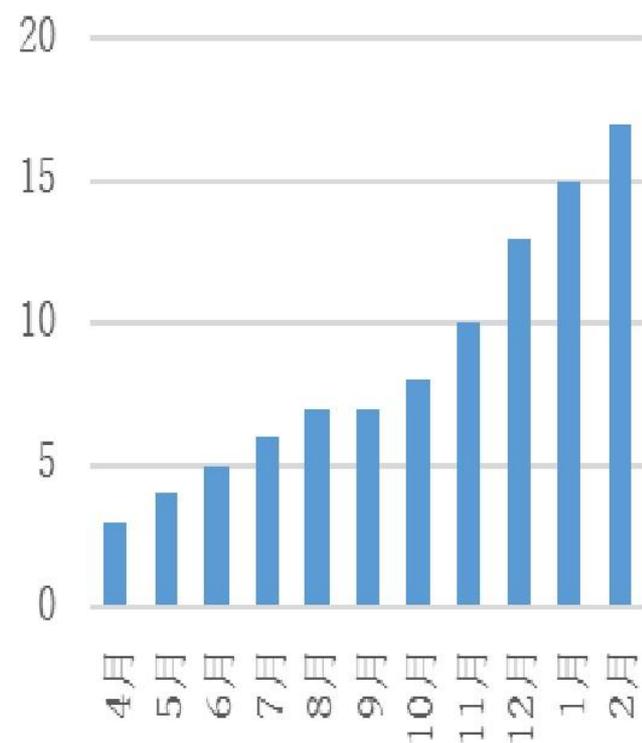




困り感の推移



受け入れ児童生徒数





3 活動から見えてきた課題

3.1

機関の連携（学校＋NPO＋保護者＋・・・）

※保護者と学校の間に入ってあげる人が大切

3.2

保護者に寄り添うことのできる専門家の育成

※すでに少し始まっています。





3 活動から見えてきた課題

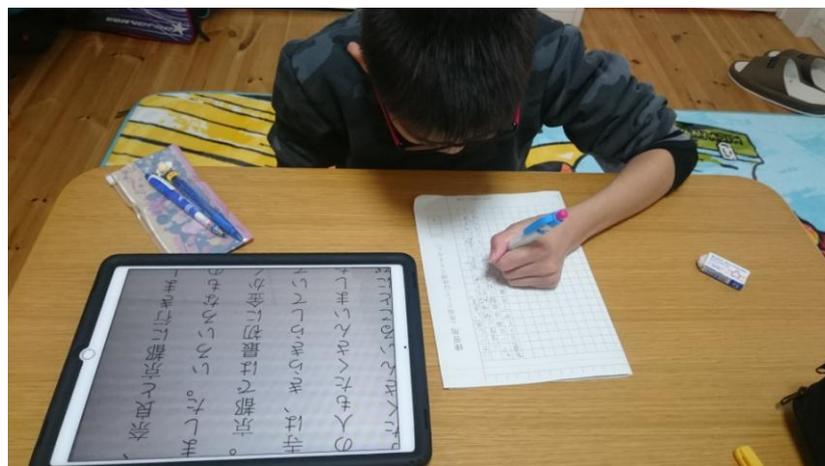
3.3

子どもにも保護者にも配慮のある教材の開発

※やさしい日本語など

3.4

配慮事例の共有化





ご清聴ありがとうございました。

「かかりつけ」の専門家

アジャストHP

<http://npo-adjust.jimdo.com/>

sophie2016aichi@gmail.com

